



お知らせ

平成 20 年度後期 フォトン・ファクトリー研究会の募集

放射光科学研究施設長 若槻壮市

物質構造科学研究所放射光科学研究施設（フォトン・ファクトリー）では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて1～2日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間6件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますのでご応募下さいますようお願いいたします。

記

1. 開催期間 平成 20 年 10 月～平成 21 年 3 月
2. 応募締切日 平成 20 年 6 月 20 日（金）
〔年 2 回（前期と後期）募集しています〕
3. 応募書類記載事項（A4 判、様式任意）
 - (1) 研究会題名（英訳を添える）
 - (2) 提案内容（400 字程度の説明）
 - (3) 提案代表者氏名、所属及び職名（所内、所外を問わない）
 - (4) 世話人氏名（所内の者に限る）
 - (5) 開催を希望する時期
 - (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名、所属及び職名
4. 応募書類送付先
〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
放射光科学研究施設事務室
TEL：029-864-5635

* 封筒の表に「フォトン・ファクトリー研究会応募」と朱書のこと。

なお、旅費、宿泊費等については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します（1 件当たり上限 50 万円程度）。

また、研究会の報告書を KEK Proceedings として出版していただきます。

Photon Factory Activity Report 2007 ユーザーレポート執筆のお願い

PFACR2007 編集委員長 小野寛太（KEK・PF）

物質構造科学研究所・放射光科学研究施設（Photon Factory）では、施設の活動報告集として毎年 Photon Factory Activity Report（PFACR）を発行しております。PFACR は、放射光科学研究施設の概要、年間の運転状況、新設ビームラインの紹介、光源加速器の R&D で得られた成果などについての報告書であるとともに、PF でユーザーの皆様が当該年度に実施された実験課題で得られた新しい結果の報告の場であり、広く国内外に配布して PF の活動を伝えて参りました。2007 年度（2007 年 4 月～2008 年 3 月）の成果をまとめる PFACR2007 は本年秋の発行を予定して編集作業を開始致しました。つきましては、皆様が過去 1 年程度の間 PF で実施された研究をユーザーレポートとして収集したいと考えておりますので、皆様の研究成果をレポートとして是非お送り下さるようお願い申し上げます。皆様の寄稿が PF の研究活動を計る重要な物差しであり、また PF を支援して頂き、ひいては皆様の研究環境の改良にも繋がるものと考えております。

2007 年度に PF で実験を行った全てのユーザーの方にレポートを寄稿して頂くのが基本ですが、データ解析あるいは解釈の問題がありますので、必ずしも 2007 年度に限定せず、それ以前の実験結果の報告でも結構です。

PFACR は、Part-A の Highlights and Experimental Facilities と Part-B のユーザーの皆様からの研究報告（ユーザーレポート）に分かれており、PFACR2001 から Part-B は CD-ROM のみでの出版となっております。PFACR2002～2006 は PF の Web ページ、<http://pfwww.kek.jp/pfacr/index.html> でご覧頂けます。

ユーザーレポートの原稿や電子ファイルの準備・投稿要領は下記ホームページに掲載しておりますので、ご覧下さい。

PFACR2007 ホームページ：

<http://pfwww.kek.jp/acr2007/editj.html>

原稿締め切り：6 月 13 日（金）

多くのユーザーの皆様からのレポートをお待ちしております。

また、Part-A には出版物リストを付けています。これは PF で行われた研究を基に執筆された論文リストであると共に、PF の活動のバロメータでもあります。未登録論文は、

http://pfwww.kek.jp/users_info/users_guide/pubdb.html

から登録をして下さい。以前に出版されたものでも結構です。是非登録をお願い致します。

尚 PFACR2007 についてのお問い合わせは、PF 秘書室（TEL:029-864-5196, E-mail:pf-sec@pfqst.kek.jp）までお願い致します。

総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究科物質構造科学専攻 大学院説明会及び学生募集のお知らせ

総合研究大学院大学（総研大）は、「大学共同利用機関」の高度な研究環境を活用した大学院大学です。学部を持たない大学院だけの大学で、独創的・国際的な学術研究の推進や先導的学問分野の開拓に対応する研究者の養成を目的としています。

物質構造科学専攻は高エネルギー加速器科学研究科に属し、基盤共同利用研究機関としては、高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所が対応しています。博士5年教育（5年一貫制）と博士後期3年教育コースを準備しています。物質構造科学専攻では、物質構造科学研究所において、世界最先端のビームの発生と加工に関する技術開発研究や新しい利用研究手法の開発、先端的利用研究を行っている研究者の指導の下に、その将来を担い、かつその発展に貢献する有為の人材の養成を目的としています。新しいことにチャレンジし、世界に飛び出していく意欲のある方の参加を期待しています。

物質構造科学専攻 専攻長 下村 理

物質構造科学専攻のホームページ：

<http://pfwww.kek.jp/sokendai/index.html>

大学院説明会

下記の通り高エネルギー加速器科学研究科大学院説明会を開催いたします。興味をお持ちの方は是非ご参加下さい。

第1回 日時：5月31日（土）13:00～17:00頃まで

場所：梅田スカイビル会議室（大阪市北区）

22階会議室F

研究科紹介（飯田厚夫）

加速器フロンティアと加速器科学専攻（鎌田 進）

次世代加速器への挑戦（早野仁司）

放射光を利用した物質科学の最前線

（間瀬一彦・物構専攻）

放射光が拓く生物科学（小林克己・物構専攻）

素粒子，原子核，宇宙の理論研究の最前線

（北澤良久）

素粒子・原子核実験の最前線（宇野彰二）

第2回^{*} 日時：6月5日（木）10:00～

場所：高エネルギー加速器研究機構

国際交流センター

研究科紹介（飯田厚夫）

加速器フロンティアと加速器科学専攻（鎌田 進）

超伝導加速器（古屋貴章）

固体物理のフロンティア（門野良典・物構専攻）

放射光が拓く生物科学（加藤龍一・物構専攻）

素粒子，原子核，宇宙の理論研究の最前線

（北澤良久）

素粒子・原子核実験の最前線（伊藤領介）

第3回 日時：6月7日（土）13:00～17:00まで

場所：学術総合センター（東京都千代田区一ツ橋）

特別会議室

研究科紹介（飯田厚夫）

加速器フロンティアと加速器科学専攻（鎌田 進）

超伝導加速器（古屋貴章）

放射光が拓く生物科学（加藤龍一・物構専攻）

放射光ナノサイエンスの最前線

（小野寛太・物構専攻）

素粒子，原子核，宇宙の理論研究の最前線

（北澤良久）

素粒子・原子核実験の最前線（伊藤領介）

題目・講師は変更となる場合がありますのでご了承下さい。いずれも申し込み等は不要です。当日直接会場までお越しください。講演に引き続き、志望研究室・研究者訪問（6月5日）、学生・教員交流アワー（5月31日、6月7日）を企画しています。

^{*}第2回は、第19回夏期実習（6月2日～6月4日開催）の翌日に開催されます。

詳細については<http://www.kek.jp/sokendai/>をご覧ください。

総研大物質構造科学専攻学生募集

平成20年10月入学生及び平成21年4月入学生募集概要

1. 募集人数

入学課程	募集人数	
	2008（平成20）年 度10月入学	2009（平成21） 年度4月入学
5年一貫制博士課程	若干名	3名
博士後期課程	若干名	若干名

2. 願書受付期間

5年一貫制博士課程・博士後期課程（第1回募集）：

2008（平成20）年7月4日（金）から7月10日（木）

博士後期課程（第2回募集）：

2009（平成21）年1月6日（火）から1月9日（金）

3. 試験日程

第1回：平成20年8月20日（水）～9月5日（金）の間（未定）

第2回：平成21年1月28日（水）～2月5日（木）の間（未定）

4. 選抜の方法

5年一貫制博士課程：書類選考と学力検査及び健康診断により行う。

博士後期課程：書類選考と学力試験（面接）及び健康診断により行う。

5. 募集要項請求先

（入学者募集要項は平成20年6月頃完成予定です。）

〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1

高エネルギー加速器研究機構

研究協力課大学院教育係

TEL 029-864-5128

e-mail : kyodo2@mail.kek.jp

総研大物質構造科学専攻の教育・研究内容については小林克己，小野寛太，飯田厚夫までお問い合わせ下さい。

人事異動・新人紹介

	発令年月日	氏名	現職	旧職
(退職)	H20. 03. 31	松下 正	高エネルギー加速器研究機構 ダイヤモンドフェロー	物構研 放射光科学第一研究系 教授
	H20. 04. 01	小池祐一郎		物構研 放射光科学第一研究系 博士研究員
(異動)	H20. 04. 01	澤 博	名古屋大学大学院工学研究科 教授	物構研 放射光科学第二研究系 教授
	H20. 04. 01	東 善郎	上智大学理工学部 教授	物構研 放射光科学第一研究系 准教授
	H20. 04. 01	岩住 俊明	大阪府立大学大学院工学研究科 教授	物構研 放射光科学第二研究系 准教授
	H20. 04. 01	安達 弘通	信州大学全学教育機構 准教授	物構研 放射光科学第二研究系 助教
(昇任)	H20. 04. 01	宇佐美徳子	物構研 放射光科学第一研究系 研究機関講師	物構研 放射光科学第一研究系 助教
	H20. 04. 01	内田 佳伯	物構研 放射光科学第一研究系 技師	物構研 放射光科学第一研究系 技師補

(採用)

久保田 孝幸 (くぼた たかゆき)

1. 2008年2月1日
2. 構造生物学研究センター
研究補助員

島田 美帆 (しまだ みほ)

1. 2008年4月1日
2. 放射光源研究系 博士研究員

牧尾 尚能 (まきお ひさよし)

1. 2008年4月1日
2. 構造生物学研究センター
研究員 (産学連携)

土岐 睦 (とき まこと)

1. 2008年3月1日
2. 文科省委託事業「先端研究施設共
用イノベーション創出事業」
技術指導研究員

- | | | |
|---------|--------------|-----------|
| 1. 着任日 | 2. 現在の所属・職種 | 3. 前所属・職種 |
| 4. 専門分野 | 5. 着任に当てるの抱負 | 6. モットー |
| 7. 趣味 | | |

新田 清文 (にした きよふみ)

1. 2008年4月1日
2. 文科省委託事業「先端研究施設共用イノベーション創出事業」
技術指導研究員

(入学)

中村 健介 (なかむら けんすけ)

1. 2008年4月1日
2. 総合研究大学院大学
物質構造科学専攻
5年一貫博士過程

大久保 健 (おおくぼ けん)

1. 2008年4月1日
2. 総合研究大学院大学
物質構造科学専攻
5年一貫博士過程

予 定 一 覧

2008年

5月31日	総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究科大学院説明会 (大阪・梅田スカイビル)
6月2日～4日	高エネルギー加速器研究機構 総合研究大学院大学「夏期実習」
6月5日	総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究科大学院説明会 (KEK・国際交流センター)
6月7日	総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究科大学院説明会 (東京・学術総合センター)
6月20日	平成20年度後期フォトン・ファクトリー研究会公募締切
6月30日	PF, PF-AR 平成20年度第一期ユーザー運転終了
7月4日～10日	総合研究大学院大学 5年一貫性博士課程・博士後期過程願書受付
8月31日	KEK 一般公開

最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getschtxt> でご覧下さい。

平成20年3月31日

関係機関の長
殿
関係各位

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所長 下村理 (公印省略)

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所教員公募について (依頼)

本機構では、下記のとおり教員を公募いたしますので、貴関係各位に御周知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

記

公募番号 物構研07-8

1 公募人員

教授 1名 (任期なし)

本機構の教員の職名は、教授、准教授、講師、研究機関講師及び助教であるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は63歳である。

2 研究 (職務) 内容

放射光科学研究施設では、主にX線回折・散乱を基にした物質構造解析から対象物質の特徴ある物性発現の機構を解明する研究グループとして構造物性グループが組織されている。本候補者は構造物性グループのグループリーダーとして、構造物性研究を展開すると同時に、該当ビームライン・実験装置の改善、保守および共同利用研究を推進する。また、本候補者は物質構造科学研究所で組織化する予定である構造物性研究センターのセンター長として、放射光、中性子、ミュオン、低速陽電子などの特徴あるプローブを用いた構造物性研究を牽引する。

3 公募締切

平成20年5月30日 (金) (必着)

4 着任時期

採用決定後できるだけ早い時期

5 選考方法

原則として面接とする。ただし第一段階の審査として書類選考を行うことがある。

6 提出書類

(1) 履 歴 書 ----- 通常の履歴事項の後に、①応募する公募番号 (2件以上応募の場合はその順位) 及び、②可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスがある場合は明記すること。

(2) 研究歴および本公募に関連する業務歴

(3) 発表論文リスト ----- 和文と英文は別葉とすること。

(4) 着任後の抱負 (公募内容全般に対するものであること)

(5) 論文別刷 ----- 主要なもの5編以内

(6) その他参考資料 (外部資金獲得状況、国際会議招待講演、受賞歴等)

(7) 本人に関する推薦書または参考意見書 (宛名は物質構造科学研究所長下村理とすること)

上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべてA4判横書きとし、各葉に氏名を記入すること。

なお、2件以上応募の場合は、提出書類を別々に用意すること。

また、審査前に辞退があった場合以外の提出書類の返送は致しません。

7 書類送付

送付先 〒305-0801

茨城県つくば市大穂1-1

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

総務部人事労務課任用係

封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし、郵送の場合は書留とすること。

8 問い合わせ先

(1) 研究内容等について

研究主幹 若槻 壮市 (放射光科学第二研究系) TEL 029-864-5631 (ダイヤル)

(2) 提出書類について

総務部人事労務課任用係 TEL 029-864-5118 (ダイヤル)

平成20年3月31日

関係機関の長
殿
関係各位

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所長 下村理 (公印省略)

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所教員公募について (依頼)

本機構では、下記のとおり教員を公募いたしますので、貴関係各位に御周知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

記

公募番号 物構研07-9

1 公募人員

准教授 1名 (任期なし)

本機構の教員の職名は、教授、准教授、講師、研究機関講師及び助教であるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は63歳である。

2 研究 (職務) 内容

放射光科学研究施設では、放射光を利用した実験研究を推進するため、挿入光源ビームラインを中心に整備を進めている。本公募で求める人材は、放射光科学研究施設の先端技術・基盤整備・安全グループで既存光源の性能を最大限に引き出すための技術開発を行うとともに、将来光源の活用へ向けた先端技術の開発、放射光利用研究の技術的基盤整備に従事する。とりわけ、X線領域におけるビームライン・実験装置関連技術の開発、ビームライン整備計画の推進において中核的役割を担う。同時に、X線領域の放射光を利用した回折・散乱・分光等の手法による先端物質科学研究、関連するビームライン・実験装置の性能向上・管理を行い、共同利用実験を推進する。

3 公募締切

平成20年5月30日 (金) (必着)

4 着任時期

採用決定後できるだけ早い時期

5 選考方法

原則として面接とする。ただし第一段階の審査として書類選考を行うことがある。

6 提出書類

(1) 履 歴 書 ----- 通常の履歴事項の後に、①応募する公募番号 (2件以上応募の場合はその順位) 及び、②可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスがある場合は明記すること。

(2) 研究歴および本公募に関連する業務歴

(3) 発表論文リスト ----- 和文と英文は別葉とすること。

(4) 着任後の抱負 (公募内容全般に対するものであること)

(5) 論文別刷 ----- 主要なもの5編以内

(6) その他参考資料 (外部資金獲得状況、国際会議招待講演、受賞歴等)

(7) 本人に関する推薦書または参考意見書 (宛名は物質構造科学研究所長下村理とすること)

上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべてA4判横書きとし、各葉に氏名を記入すること。

なお、2件以上応募の場合は、提出書類を別々に用意すること。

また、審査前に辞退があった場合以外の提出書類の返送は致しません。

7 書類送付

送付先 〒305-0801

茨城県つくば市大穂1-1

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

総務部人事労務課任用係

封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし、郵送の場合は書留とすること。

8 問い合わせ先

(1) 研究内容等について

研究主幹 野村 昌治 (放射光科学第一研究系) TEL 029-864-5633 (ﾀﾞｲヤリン)

(2) 提出書類について

総務部人事労務課任用係 TEL 029-864-5118 (ﾀﾞｲヤリン)

大学共同利用機関法人
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所長 下村理

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所教員公募について（依頼）

本機構では、下記のとおり教員を公募いたしますので、貴関係各位に御周知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

記

公募番号 物構研08-2

1 公募人員

准教授 1名（任期なし）

本機構の教員の職名は、教授、准教授、講師、研究機関講師及び助教であるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は63歳である。

2 研究（職務）内容

放射光科学研究施設では、主にX線回折・散乱を基にした物質構造解析から対象物質の特徴ある物性発現の機構解明を推進するグループとして構造物性グループが組織されている。本候補者は構造物性グループに所属し、構造物性研究を展開すると同時に、該当ビームライン・実験装置の改善、保守および共同利用研究を推進について中核的役割を担う。また、本候補者は物質構造科学研究所で組織化する予定である構造物性研究センターにも兼務することが望まれる。

3 公募締切

平成20年7月4日（金）（必着）

4 着任時期

採用決定後できるだけ早い時期

5 選考方法

原則として面接とする。ただし、第一段階の審査として書類選考を行うことがある。

6 提出書類

（1）履歴書 通常の履歴事項の後に、①応募する公募番号（2件以上応募の場合はその順位）及び、②可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスがある場合は明記すること。

（2）研究歴および本公募に関連する業務歴

（3）発表論文リスト 和文と英文は別葉とすること。

（4）着任後の抱負（公募内容全般に対するものであること）

（5）論文別刷 主要なもの5編以内

（6）その他参考資料（外部資金獲得状況、国際会議招待講演、受賞歴等）

（7）本人に関する推薦書または参考意見書（宛名は物質構造科学研究所長下村理とすること）

上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべてA4判横書きとし、各葉に氏名を記入すること。

なお、2件以上応募の場合は、提出書類を別々に用意すること。

また、審査前に辞退があった場合以外の提出書類の返送は致しません。

7 書類送付

送付先 〒305-0801

茨城県つくば市大穂1-1

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

総務部人事労務課任用係

封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし、郵送の場合は書留とすること。

8 問い合わせ先

（1）研究内容等について

研究主幹 若槻壮市（放射光科学第二研究系） TEL 029-864-5631（ダイヤルイン）

（2）提出書類について

総務部人事労務課任用係 TEL 029-864-5118（ダイヤルイン）

運転スケジュール (May~Aug. 2008)

E : ユーザー実験 **B** : ボーナスタイム
B* : ボーナスタイム(2008年度前期のみ)
M : マシンスタディ **T** : 立ち上げ
MA : メンテナンス **SB** : シングルパンチ

5月	PF	PF-AR	6月	PF	PF-AR	7月	PF	PF-AR	8月	PF	PF-AR
1(木)			1(日)	E	E	1(火)			1(金)		
2(金)			2(月)	M	MA/M	2(水)			2(土)		
3(土)			3(火)	B	B	3(木)			3(日)		
4(日)	STOP	STOP	4(水)			4(金)			4(月)		
5(月)			5(木)			5(土)			5(火)		
6(火)			6(金)	E	E	6(日)			6(水)		
7(水)			7(土)			7(月)			7(木)		
8(木)			8(日)			8(火)			8(金)		
9(金)			9(月)	MA/M	B*	9(水)			9(土)		
10(土)		T/M	10(火)	B	B	10(木)			10(日)		
11(日)	T/M		11(水)			11(金)			11(月)		
12(月)		E	12(木)			12(土)			12(火)		
13(火)		B	13(金)	E	E	13(日)			13(水)		
14(水)			14(土)			14(月)			14(木)		
15(木)			15(日)			15(火)			15(金)		
16(金)		E	16(月)	M	M	16(水)	STOP	STOP	16(土)	STOP	STOP
17(土)			17(火)	B	B	17(木)			17(日)		
18(日)	E		18(水)			18(金)			18(月)		
19(月)		M	19(木)			19(土)			19(火)		
20(火)	B	B	20(金)	E	E	20(日)			20(水)		
21(水)			21(土)			21(月)			21(木)		
22(木)		B	22(日)			22(火)			22(金)		
23(金)	E	E	23(月)	M	B*	23(水)			23(土)		
24(土)			24(火)	B	B	24(木)			24(日)		
25(日)		E	25(水)			25(金)			25(月)		
26(月)	M	B*	26(木)			26(土)			26(火)		
27(火)	B	B	27(金)	E	E	27(日)			27(水)		
28(水)			28(土)			28(月)			28(木)		
29(木)			29(日)			29(火)			29(金)		
30(金)	E	E	30(月)	M	M	30(水)			30(土)		
31(土)						31(木)			31(日)		

総研大夏期実習
 6月2日~4日

スケジュールは変更されることがありますので、最新情報はPFホームページ(<http://pfwww.kek.jp/indexj.html>)
 の「PFの運転状況/長期スケジュール」(<http://pfwww.kek.jp/unten/titlej.html>) をご覧ください。